

つくば・市民ネットワーク第4次中期計画（2023～2025）政策編

I. はじめに ～「すべての人が自分らしく生きられる社会」をめざして～

つくば・市民ネットワークが目指す社会は、だれかが決めたものでなく、どこかにある理想の社会でもなく、人々が対話により創っていく社会です。

市民ネットの「政策」は最終目標ではなく、また固定されたものではありません。リーダーやトップが決めるものではなく、一人一人が考え意見を出して決めます。一度決めたら変更しないものではなく、常に変化する可能性を持っています。

一方、変化しないこと、いわばつくば・市民ネットワークの柱となっているのは、既定のものにとらわれず、「話し合っていて決めていく」という進め方です。

市民ネットの活動の基盤は「市民活動」と「議会活動」です。

代理人は、市民活動の中から市民の声を、議会へ届け、行政に直接働きかける手段として機能しています。一般の市民が議会で活動することで、政治が身近になり、政治への関心を呼び起こす役目も果たしています。

一人一人の活動のきっかけは、それぞれがもつ課題の解決かもしれません。しかし、解決するころにはさらに話し合いたい課題や、一緒に話し合っていきたい仲間がみつき、自分たちで創っていく社会が実感できると思います。

このように人と人をつなげ、常に話し合っていて決めながら「市民活動」と「議会活動」を積み重ねることが、市民ネットの活動です。

多くの人が行動することで、「すべての人が自分らしく生きられる社会」をめざします。』

II. 第4次中期計画（2023～2025）

1. 第4次中期計画の骨子

- ・「市民参加」と「情報公開」を進める。
- ・日々の生活は政治と直結していると広く伝える。
- ・主体的に課題解決する市民の輪を広げる。
- ・市民活動と議会活動を連携させながら活動を進める。
- ・「すべての人が自分らしく生きられる社会」を目指す。

<政策>

- 1) 行政の情報公開を進め、市民参加や市民意見の反映ができる仕組みを作る。
- 2) 子供の健やかな育ちを支える環境づくりをすすめる。
- 3) 誰もが安心して暮せる地域をつくる。
- 4) 住みやすいまちづくりに取り組む
- 5) 安心・安全な食と農の推進に取り組む。
- 6) 環境を守り、循環型社会を実現する
- 7) 脱原発を実現し、再生可能エネルギー中心のエネルギー政策づくりに取り組む。
- 8) 立憲主義を堅持し、憲法の3原則（基本的人権の尊重、国民主権、平和主義）を守る。

第4次中期計画の全体イメージ

